

令和2年度
老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

福祉用具サービスの質の評価データ収集等に係る調査研究事業

報告書

令和3年3月

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

はじめに

福祉用具は、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を継続していけるよう、生活機能の維持・改善や介護者の負担の軽減を図る役割を担っています。

介護保険制度において福祉用具は、身体状況や要介護度の変化、福祉用具の機能の向上に応じて、適時・適切な福祉用具を利用者に提供できるよう、貸与を原則としています。また福祉用具貸与では、平成 24 年度に福祉用具貸与計画書の作成、平成 30 年度には、複数商品の提示と全国平均貸与価格等の説明、連携強化を見据えた介護支援専門員への福祉用具貸与計画書の交付が義務づけられました。

一方、未来投資戦略会議や科学的裏付けに基づく介護に係る検討会においては、科学的に自立支援等の効果が裏づけられた介護の実現が求められている中で、分析に必要なデータベースの構築と、収集されたデータの分析等を通じて得られたエビデンスを蓄積し、現場へ周知・普及させ、実践を進めることが提言されています。

また、令和 3 年度介護報酬改定に関する審議報告においても、「感染症や災害への対応力強化」、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」の 5 つの柱が基本的な考え方として掲げられており、「自立支援・重度化防止の取組の推進」の中で、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進が求められています。

本事業においては、福祉用具専門相談員が作成した福祉用具貸与計画書やモニタリング記録に記載されている項目やその内容に関する収集・分析を行いました。また、介護保険において先行してデータベースに基づく事業として実施されている通所・訪問リハビリテーションの質の評価データ収集等事業（通称 VISIT）や高齢者の状態・ケアの内容等のデータ（通称 CHASE）の質の評価方法の調査等を行いました。

これらの結果を踏まえて、福祉用具サービスの質の評価を実施するために必要な項目の整理、評価方法の検討を行い、福祉用具サービスデータベースの構築が進むことで、福祉用具サービスの資質向上の一助になることを期待しています。

おわりに、本事業の実施において、ご協力いただいた検討委員会の委員の方々や、アンケート・ヒアリング調査にご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 3 月
一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

目次

1. 事業概要	1
1-1. 事業実施の目的	1
1-2. 調査の進め方	1
1-3. 委員会の実施	2
1-4. 本調査における検討範囲	3
2. 福祉用具サービス計画、モニタリングシートの実態把握	5
2-1. アンケート調査の実施	5
2-2. ヒアリング調査の実施	34
2-3. 福祉用具サービス計画、モニタリングシートの収集・分析	40
3. 福祉用具サービスの質の評価に向けたコード化の検討	69
3-1. 実施概要	69
3-2. コード化の検討	70
3-3. コード化検討のまとめ	74
4. 本調査のまとめ	75
5. 今後に向けた検討事項	77
6. 参考資料	81
6-1. 福祉用具サービス計画の記載項目と VISIT・CHASE 入力項目の比較	81
6-2. アンケート調査票	85
6-3. 福祉用具サービス計画書（ふくせん様式）	89
6-4. モニタリングシート（ふくせん様式）	92